

オリンピックで「君が代」いっぱい聞いたけど

『君が代』の意味 知ってる？

『君が代』の歌詞は・・・

「き～み～が～あよ～おは～ ち～いよ～にい や～ち～よ～に～
さ～ざ～れ～い～し～の～ い～わ～お～と～なあ～りて～
こ～け～の～ む～うす～うま～ああで～」・・・だよな。



卒業式や入学式などで必ず「歌え」と言われるのに、
意味も教えられていないって、へんだよね。

※裏に、現代語に直した「君が代」を載せています。

D-TaC (Democracy for Teachers and Children ~ 「君が代」処分撤回！松田さんとともに～)
HP : 「D-TaC 松田さんとともに」で検索 連絡先 : Eメール : dtac@aol.jp

『君が代』現代語直訳 ♪

「天皇が治める世の中は 千年 万年 小さな石が
大きな岩になって 苔(こけ)が はえるまで永遠に」

政府は「『君』は『天皇』を指すが、日本国憲法の下では、『君が代』(『天皇が治める世の中』)を『我が国』のことだと思って歌うのがよい」と言っています。大阪市教育委員会は、「歌詞を解釈する立場にない」と言って、なぜ「君が代」が「我が国」になるのか説明しようとしません。歌詞の意味を納得できるように誰も説明しない…！？ そんな『君が代』を、全員に必ず歌えと強制できるのでしょうか。

国会前に集まった安保法制(戦争法)反対の若者の間では、「民主主義ってなんだ？」「これだ」とのコールが繰り返されました。「納得できないことには声を上げるのが民主主義だ」という意味です。そして戦争と学校教育には深いつながりがあります。

「『君が代』ってどんな歌？」と問うこと、「歌えと強制しないでください」と言うこと…これは生徒にとって、現在の憲法の下で保障された権利です。